

## 第55回 統計委員会 議事概要

- 1 日 時 平成24年4月20日（金）15：00～15：40
- 2 場 所 中央合同庁舎4号館12階 共用1208特別会議室
- 3 出席者

### 【委員】

樋口委員長、深尾委員長代理、縣委員、安部委員、北村委員、西郷委員、白波瀬委員、竹原委員、椿委員、津谷委員、中村委員、廣松委員

### 【統計委員会運営規則第3条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、文部科学省生涯学習政策局調査企画課長、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計審議官、日本銀行調査統計局審議役、東京都総務局統計部長

### 【事務局等】

加賀谷総務大臣政務官、前川内閣府大臣官房総括審議官、村上内閣府大臣官房統計委員会担当室長、杉山内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、伊藤総務省政策統括官（統計基準担当）、千野総務省政策統括官付統計企画管理官

## 4 議 事

- (1) 諮問第43号の答申「社会保障費用統計（旧社会保障給付費）の基幹統計としての指定について」（案）
- (2) その他

## 5 議事概要

冒頭、新たに就任した加賀谷総務省大臣政務官から、今後の統計行政に関する抱負等について挨拶があった。

- (1) 諮問第43号の答申「社会保障費用統計（旧社会保障給付費）の基幹統計としての指定について」（案）事務局から資料に基づき答申案の内容の説明があり、原案のとおり採択された。

各委員の主な意見等は以下のとおり。

- 基幹統計と指定されるOECD基準表あるいはILO基準表の集計様式は日本語となっているが、外国語表記の直訳なのか、また、公表の際に英語訳やUSドル表記版を作成する予定はあるのか、日本での実際の制度名と各項目への振り分けの公表についてどのようなことを考えているのか。
- 参考資料の集計様式は、基本的には英語を日本語に直訳しており、日本において訳語の意味を別の意味に変えているようなことはない。OECDにおいては、英語とフランス語により公表を行っており、日本では英語版を直訳して使用している。USドル等の表記は考えておらず、国際比較に用いられる対GDP比を引き続き公表していく。政策分野別などの詳細については、基幹統計としての指定を機に作成方法を示すと共にユーザーの利便性を考え、

わかりやすい詳しい資料をホームページなども活用しながら公表していきたい。

(2) その他

- ① 椿委員から、参考3に基づき、(社)日本品質管理学会「統計・データの質マネジメント研究会」の活動状況について報告があった。
- ② 次回の委員会は、議題及び日程が確定次第、別途連絡されることとされた。